

若年性認知症と生きる

鹿児島県の現場から

10月上旬の午前10時

しているのだ。

年性の人と65〜74歳の

半ごろ、鹿児島市照国

センターは、厚地脳

前期高齢者が中心だ。

町の「デイサービスセ

ンター厚地」に送迎車

も系列の医療法人慈風

が入って来た。乗って

会が運営する。「高齢

者のデイサービスにな

いた60〜70代の男性11

人は「デイサービスにつ

きたくない」という若年

性認知症の人の声がき

つかなかった。

の午前10時半から午

日にスケジュールを冊

子に書き込み始めた。

後5時半まで。管理者

この日は午前中が脳

らが「若年性の人たち

の林奈保子さん(29)は

トレ、体操、午後は天

の居場所をつくらう」

「若年性の人と同じ世

文館周辺のウォーキン

と2008年7月に開

代の仲間とつながり、

グなど。認知症の人は

設。若年性の人はい

まで、延べ25人受け入

時間や場所が分からな

い。利用者若

くなるため、毎日確認

れてきた。

厚地正道理事長(47)

「若年性の人と同じ世

代の仲間とつながり、

生きがいを持てる場

にしたい」と語る。

たい」と語る。

厚地正道理事長(47)

「若年性の人と同じ世

代の仲間とつながり、

生きがいを持てる場

にしたい」と語る。

たい」と語る。

厚地正道理事長(47)

「若年性の人と同じ世

たい」と語る。

厚地正道理事長(47)

「若年性の人と同じ世



若年性の人や前期高齢者のための「デイサービスセンター厚地」。自宅に閉じこもりがちな男性の居場所になっている
—鹿児島市照国町

Ⓣ

5年ほど前から利用

する若年性アルツハイ

マー病の男性(68)は以

前、別のデイサービス

に通っていた。同世代

はおらず、高齢者の介

助を手伝うこともあつ

たという。センターで

は冗談好きのムードメ

ーカーだ。「同じ世代

のいろんな人と話せる

のが楽しい」と男性は

言う。

厚地理事長は「若年

性は、経済的にも心的

にも負担が重い。早期

からのサポート体制が

必要」と話す。県内に

若年性に特化した施設

はなく、センターのよ

うな事業所は珍しいと

みられる。

いちき串木野市の男

性(66)は約8年前、妻

(70)が若年性アルツハ

イマー病と診断され

た。発症に気づいたの

は10年前。すでに娘2

人は独立し、2人暮ら

しだった。

妻は米や金が盗まれ

たと騒いで警察を呼ん

だり、金融機関でお金

の引き出しと預け入れ

を一日おきに繰り返

たりした。男性は会社

勤めをしながら自身が

入院するまで、6年間

ほど自宅で介護した。

男性は妻の発症が分

かってから、妻の認知

症を近所の人に打ち明

けた。老人クラブのグ

ラウンドゴルフ大会な

どは一人で買物に行く

ときは、近所の人が見

守ってくれたこともあ

った。妻は現在、胃ろ

う(胃への直接栄養)

を受けながら高齢者施

設に入所する。

介護体験を振り返り

ながら男性は言う。「近

所の人の理解があった

から、介護を続けられ

た。認知症を隠さない

ことができない

でほしい。周囲の理解

や協力があれば、介護

者だけでなく、認知症

の人が望む生活も支え

ることができると

思っている

と語る。

厚地正道理事長(47)

「若年性の人と同じ世

認知症の人と家族の会鹿児島県支部

鹿児島市鴨池新町

(県社会福祉センター2階)

電話 099(257)3887

(火・水・金の午前10時～午後4時、

来訪でも受け付ける)

若年性認知症コールセンター

愛知県大府市

電話 (0800)1002707

(月～土の午前10時～午後3時)

若年認知症サポートセンター

東京都新宿区

電話 03(5919)4186

(月・水・金の午前10時～午後5時)

若年認知症家族会彩星(ほし)の会

東京都新宿区

電話 03(5919)4185

(月・水・金の午前10時半～午後5時)

若年性認知症の相談窓口

平成26年11月5日 水曜日

南日本新聞 朝刊 第3面より 掲載させて頂きました

一部レイアウト変更してございます

支え 居場所と周囲の理解必要